



目標2 飢餓をゼロに

目標内容は飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。



飢餓とは

十分な食べ物を食べられずに栄養不足になり、健康を保つことができなくなった状態のことをいいます。今、世界では約7億人が飢餓に苦しんでいます。これは世界人口の11人に1人の割合で、飢餓に苦しむ人の多くは、途上国の農村部などに住む人たちです。

他人ごとではない？ 飢餓になる要因はたくさんある！

飢餓問題は遠い外国の問題と思っている方も多いと思いますが、自然災害や紛争などが原因となって、いつ飢餓状態に陥るかわかりません。



地震や津波などが起こると農作物が被害を受け、食料の安定供給ができなくなり、飢餓状態になってしまいます。



紛争が起きると家や農地などを捨てて避難するため、食料の確保が困難になり、飢餓状態になってしまいます。

日本の食料の内、約60%は国外からの輸入となっていますが、年間約600万トン食べられたにも関わらず、賞味期限が過ぎたなどの理由によって廃棄しています。また、現在進行中のウクライナとロシアの紛争で小麦の価格が高騰し、遠い国の紛争でも私たちの生活に関わってくる問題になります。

なので、私たちは自然災害等に備えて飢餓に備えておく必要があります。

恩納村として 取り組んでいること

農業振興地域等で農業用地区を保護し、安定した食糧供給のために取り組んでいます。



個人でもできること

防災用の食糧を備えるなど



よく考えて購入、消費し、食糧廃棄を削減するなど



出典：相模原市SDGs one by one

お問い合わせ：恩納村SDGs推進事務局(企画課内) ☎966-1201 ✉sunna.sdgs@gmail.com



恩納村のSDGs
取組情報